



平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年1月29日

上場会社名 大阪製鐵株式会社

上場取引所 東証・大証1部

コード番号 5449

URL <http://www.osaka-seitetsu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永広 和夫

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 久埜 誠一

TEL (06) 6552-1442

四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

(記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績 (平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
21年3月期第3四半期	110,076 —	18,513 —	18,621 —	11,027 —
20年3月期第3四半期	88,001 14.2	9,071 △28.6	9,180 △28.6	5,339 △27.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	263 13	— —
20年3月期第3四半期	126 90	— —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	138,026	115,095	82.4	2,756 76
20年3月期	131,802	106,441	79.8	2,499 72

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 113,782百万円 20年3月期 105,179百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
(基準日)	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	16 00	—	16 00	32 00
21年3月期	—	16 00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	22 00	38 00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 : 有

3. 平成21年3月期の連結業績予想 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通 期	125,000 0.7	20,300 68.8	20,500 68.6	11,700 66.5	280 23

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 有

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
 (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

〔(注) 詳細は、5 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他(1)をご覧ください。〕

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有
 ② ①以外の変更 : 無

〔(注) 詳細は、5 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他(2)をご覧ください。〕

- (4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

21年3月期第3四半期	42,279,982株	20年3月期	42,279,982株
-------------	-------------	--------	-------------

- ② 期末自己株式数

21年3月期第3四半期	1,006,121株	20年3月期	203,389株
-------------	------------	--------	----------

- ③ 期中平均株式数（四半期連結累計期間）

21年3月期第3四半期	41,909,928株	20年3月期第3四半期	42,078,101株
-------------	-------------	-------------	-------------

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づくものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は製品市況や原料価格等の変動要因により大きく異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報（第3四半期連結累計期間の概況）

当第3四半期連結累計期間においては、前半での原材料価格の高騰、後半での原材料価格の急落、並びに世界経済の急速な減速に伴う国内外の需要急減等、極めて厳しい環境変化に直面致しました。

こうした中、当社グループは、需要家の皆様に環境変化に対するご理解を頂きながら鋼材価格の改善を進めてまいりました。また、「必要な時に・必要な商品を・必要なだけ造り・お届けする」という大阪製鐵版のジャストインタイムに徹し、グループ全社を挙げて企業体質強化を推進してまいりました。

この結果、厳しい経営環境下ではありましたが、鋼材売上数量は87万4千トン（前年同期実績96万2千トン）、売上高は1,100億7千6百万円（前年同期実績880億1百万円）、経常利益は186億2千1百万円（前年同期実績91億8千万円）、四半期純利益は110億2千7百万円（前年同期実績53億3千9百万円）と前年同期と比べ増収・増益となりました。

なお、前年同期の数値は参考として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報（第3四半期連結累計期間の概況）

(1) 資産、負債及び純資産の状況

(イ) 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べ9.7%増加し、832億7千7百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が96億1千6百万円増加したこと等によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ2.1%減少し、547億4千9百万円となりました。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ4.7%増加し、1,380億2千6百万円となりました。

(ロ) 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べ10.1%減少し、188億3千3百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が52億5千5百万円減少したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ7.0%減少し、40億9千8百万円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ9.6%減少し、229億3千1百万円となりました。

(ハ) 純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ8.1%増加し、1,150億9千5百万円となりました。

これは、主として当四半期純利益の確保により、利益剰余金が96億8千1百万円増加したことなどによるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ40億3千8百万円減少し、230億4千万円となりました。

なお、前年同期の数値は参考として記載しております。

(イ) 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、11億2千4百万円の収入(前第3四半期連結累計期間24億4千6百万円の収入)となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益186億2千1百万円、減価償却費29億5百万円であり、支出の主な内訳は、売上債権の増加96億1千6百万円、仕入債務の減少52億7千9百万円などであります。

(ロ) 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、28億6千5百万円の支出(前第3四半期連結累計期間23億6千5百万円の支出)となりました。これは、主に有形固定資産の取得28億9千1百万円によるものであります。

(ハ) 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、22億9千7百万円の支出(前第3四半期連結累計期間16億1千7百万円の支出)となりました。これは、主に配当金の支払い13億4千6百万円によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報(平成21年3月期通期)

平成21年3月期通期連結業績予想につきましては、主原料である鉄スクラップの大幅な価格下落により、売上高は1,250億円、経常利益205億円、当期純利益117億円と前回の業績予想発表に比べ増益を予想しております。

この急激な環境変化の中において、当社グループにおきましては、大阪製鐵版ジャストインタイムマネジメントをより一層強化・推進するとともに、高級商品化・海外戦略の強化等、持続的成長への基盤強化を図ってまいりました。

しかしながら、アメリカ発の世界同時不況は急速な消費の減少を招き、鉄鋼需要の大幅かつ急激な減少をもたらしております。当社の収益につきましても、4～12月期の高収益に対し、足下1～3月期予想は大幅な悪化が避けられない状況にあります。このような厳しい経営環境は長期化すると予想せざるを得ず、先行きは予断を許さないものと思われまます。

(剰余金の配当)

期末配当予想につきましては1株当たり22円とし、第2四半期(中間期)配当金と合わせ年間38円と、前年度年間配当金に対し6円の増配とさせていただきます。(平成19年度年間配当金1株当たり32円)

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

2. 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、一部の貯蔵品を除いて実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

3. 経過勘定項目の算定方法

合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

(2) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

2. 「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号）を第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）に変更しております。

この結果、従来の方法によった場合と比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ359百万円減少しております。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第 3 四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末 (平成20年 3 月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,269	421
受取手形及び売掛金	48,973	39,357
製品	2,314	1,999
半製品	1,946	1,327
原材料	2,564	1,592
仕掛品	240	276
貯蔵品	2,973	3,042
繰延税金資産	1,025	1,001
預け金	19,770	26,657
その他	204	228
貸倒引当金	△5	△5
流動資産合計	83,277	75,898
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	18,744	18,649
減価償却累計額	△11,519	△11,168
建物及び構築物 (純額)	7,224	7,481
機械装置及び運搬具	50,851	50,414
減価償却累計額	△38,627	△36,990
機械装置及び運搬具 (純額)	12,223	13,424
工具、器具及び備品	5,140	4,820
減価償却累計額	△3,958	△3,599
工具、器具及び備品 (純額)	1,182	1,221
土地	30,458	30,458
建設仮勘定	1,336	597
有形固定資産合計	52,425	53,183
無形固定資産		
ソフトウェア	90	149
その他	16	16
無形固定資産合計	107	166
投資その他の資産		
投資有価証券	1,534	1,769
長期貸付金	4	4
繰延税金資産	284	300
その他	425	544
貸倒引当金	△32	△64
投資その他の資産合計	2,216	2,554
固定資産合計	54,749	55,904
資産合計	138,026	131,802

（単位：百万円）

	当第3四半期連結会計期間末 （平成20年12月31日）	前連結会計年度末 （平成20年3月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,216	14,472
未払法人税等	5,484	2,527
修繕引当金	887	918
その他	3,243	3,037
流動負債合計	18,833	20,956
固定負債		
繰延税金負債	2,087	2,277
退職給付引当金	1,733	1,719
役員退職慰労引当金	124	178
負ののれん	52	128
その他	99	101
固定負債合計	4,098	4,404
負債合計	22,931	25,360
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,769	8,769
資本剰余金	10,648	10,648
利益剰余金	94,889	85,207
自己株式	△1,070	△128
株主資本合計	113,236	104,497
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	545	681
評価・換算差額等合計	545	681
少数株主持分	1,313	1,261
純資産合計	115,095	106,441
負債純資産合計	138,026	131,802

(2) 【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
売上高	110,076
売上原価	87,234
売上総利益	22,841
販売費及び一般管理費	
運搬費	2,729
給料及び賞与	469
退職給付引当金繰入額	33
役員退職慰労引当金繰入額	42
減価償却費	58
その他	994
販売費及び一般管理費合計	4,328
営業利益	18,513
営業外収益	
受取利息	99
受取配当金	28
負ののれん償却額	75
固定資産賃貸料	113
その他	85
営業外収益合計	402
営業外費用	
出向者給料等負担金	98
固定資産除却損	111
その他	84
営業外費用合計	294
経常利益	18,621
税金等調整前四半期純利益	18,621
法人税、住民税及び事業税	7,637
法人税等調整額	△103
法人税等合計	7,533
少数株主利益	60
四半期純利益	11,027

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間
 (自 平成20年4月1日
 至 平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	18,621
減価償却費	2,905
負ののれん償却額	△75
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△31
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	14
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△53
修繕引当金の増減額 (△は減少)	△31
受取利息及び受取配当金	△128
有形固定資産除却損	111
有形固定資産売却損益 (△は益)	△22
売上債権の増減額 (△は増加)	△9,616
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,801
仕入債務の増減額 (△は減少)	△5,279
その他	1,083
小計	5,696
利息及び配当金の受取額	128
法人税等の支払額	△4,699
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,124
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の売却による収入	25
有形固定資産の取得による支出	△2,891
その他の収入	3
その他の支出	△3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,865
財務活動によるキャッシュ・フロー	
自己株式の取得による支出	△942
配当金の支払額	△1,346
少数株主への配当金の支払額	△8
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,297
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,038
現金及び現金同等物の期首残高	27,079
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,040

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結会計期間（自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日）

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

当社は、平成20年10月29日開催の取締役会において、同年10月31日から同年12月19日を取得期間とし、取得株式数の上限を80万株、取得価額の上限を10億円とする自己株式の取得を決議しました。平成20年12月4日（約定ベース）において、累計で80万株を938百万円で市場買付により取得し、終了いたしました。

「参考資料」

(要約) 前四半期連結損益計算書

科 目	前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
	金額(百万円)
I 売上高	88,001
II 売上原価	74,366
売上総利益	13,635
III 販売費及び一般管理費	
1 運搬費	2,859
2 給与諸手当	525
3 退職給付引当金繰入額	35
4 役員退職慰労引当金繰入額	34
5 減価償却費	76
6 その他	1,031
販売費及び一般管理費合計	4,564
営業利益	9,071
IV 営業外収益	
1 受取利息及び受取配当金	127
2 その他	390
営業外収益合計	517
V 営業外費用	
営業外費用合計	408
経常利益	9,180
税金等調整前四半期純利益	9,180
税金費用	3,734
少数株主利益	105
四半期純利益	5,339

「参考資料」

（要約） 前四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
区 分	金額(百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
1 税金等調整前四半期純利益	9,180
2 減価償却費	2,693
3 引当金の増減額(△は減少)	△60
4 受取利息及び受取配当金	△127
5 売上債権の増減額(△は増加)	△2,360
6 棚卸資産の増減額(△は増加)	△2,518
7 仕入債務の増減額(△は減少)	1,173
8 その他	△522
小計	7,458
9 利息及び配当金の受取額	127
10 法人税等の支払額	△5,139
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,446
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
1 投資有価証券の売却による収入	18
2 有形固定資産の取得による支出	△2,402
3 その他	19
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,365
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
1 自己株式の取得による支出	△5
2 配当金の支払額	△1,598
3 少数株主への配当金の支払額	△12
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,617
IV 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,536
V 現金及び現金同等物の期首残高	20,557
VI 現金及び現金同等物の四半期末残高	19,020